

## ◆背景課題と解決策

- ・ ユビキタス社会の進展により、多様な端末がインターネットに接続され、広く利用されるようになる。
- ・ 設定の煩雑化、セキュリティ面での脅威により、一般のインターネットユーザでは対処しきれない問題が増えると予想される。



- ・ IPv6によるセキュアな接続管理の仕組みを活用して、一般のインターネットユーザーに負担をかけることなく、迅速かつ安心・安全なサポートを実現する。



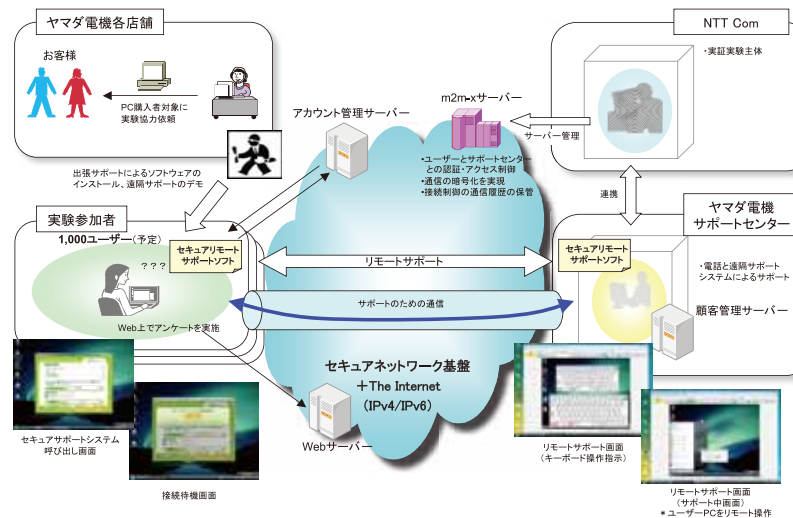
- ・ IPv6インターネットが一般ユーザーの負担なく、簡単に、安全に使えることを実証

## ◆実証実験の概要

- ・ 家電販売店のパソコン購入者（一般家庭ユーザー）に対して、設定サポートサービスをオプションで実施している。その中からモニターユーザーを募集し、セキュアリモートサポートシステムを用いた遠隔でのユーザーサポートを実施する。
- ・ モニターは1000人を予定。
- ・ 実験期間は2009/1/17～3/7（予定）
- ・ IPv6を活用した遠隔サポートモデルの有用性の検証を実施する。

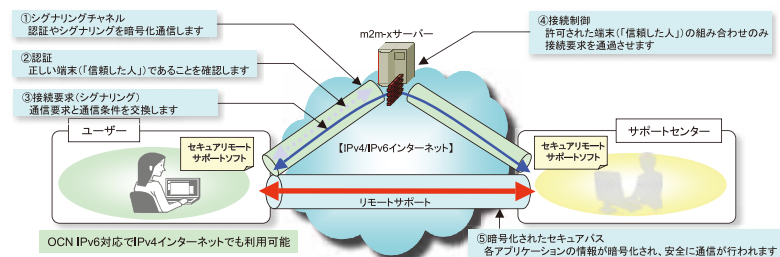
※本実証実験は、総務省「IPv6によるユビキタス環境構築に向けたセキュリティ確保に関する実証」の一環として実施するものです

## フィールド実証実験イメージ



## セキュアリモートサポートシステム概要

- 【特徴】
- ・ IPv6方式を採用することで、サポートセンターからユーザーへの容易な接続を実現（ユーザーの負担軽減）
  - ・ セキュリティ機能はNTT Com開発のm2m-x技術を用いることで通信相手の認証、通信の暗号化、アクセス制御を実現
  - ・ 診断コード機能や多彩なリモートサポート機能を組み込むことで、今までにない安全かつ効果的な遠隔サポートを実現可能



※NTTコミュニケーションズ株式会社 ニュースリリース資料より抜粋